

◆能力・コンピテンシー定義一覧表

能力・コンピテンシー一覧	定義	レベル				
		5	4	3	2	1
1 コミュニケーション力	他人の意見あるいは記述された文章を正しく理解したうえで、それに対する自分の意見を明確に表現する。効果的な説明方法や手段を用いて、関係者を納得させる					
傾聴力	他人の意見を聞き、正しく理解し、尊重する					
読解力	記述された内容を正しく理解する					
記述力	正しい文章で他人が理解できるように記述する					
提案力	適切な手順・手段を用いてわかりやすく説明したうえで、自分の意見を効果的に伝える					
議論力	議論の目標を設定し、それに合わせて議論を展開する					
2 問題解決力	課題を正しく理解する。解決策を立て実行する。その結果を検証し、計画の見直しや次の計画への反映を行う					
課題発見	現状と目標（あるべき姿）を把握し、その間にあるギャップの中から、解決すべき課題を見つけ出す					
課題分析	課題の因果関係を理解し、真の原因(本質)を見出す					
論理的思考	複雑な事象の本質を整理し、構造化（誰が見てもわかりやすく）できる。論理的に自分の意見や手順を構築・展開できる					
計画実行	目的と目標を設定し、順序立てて計画して確実に実行する					
検証	計画して実行した結果を正しく評価し、計画の見直しや次期計画への反映を行う					
3 知識獲得力	継続的に深く広く情報収集に努め、取捨選択した上で、知識やノウハウを習得し、関連付けて活用する					
学習	専門知識のみならず自然科学および人文社会科学に関するものも含めて、幅広い分野で知識やノウハウを深く習得することを継続する					
応用力	入手した知識やノウハウを関連付けて活用する					
情報収集力	必要な情報を入手し、精査した上で、取捨選択して自分のものとする					
4 組織的行動能力	チーム、組織の目標を達成するために何をすべきか、複数の視点から多面的、客観的に捉え、適切な判断を下し、当事者意識をもって行動する。その際、他者とお互いの考えを尊重し、信頼関係を築いてそれを維持しつつ行動する					
バランス力	複数の視点から、多面的、客観的に物事を捉えた適切な判断を基に行動する					
役割認識	チーム、組織の目標を達成するために個人の役割を理解し、当事者意識を持って行動する					
主体性	物事に対して自分の意志・判断で責任を持って行動する					
協働	共通の目標を達成するためお互いの考えを尊重し、信頼関係を築くような行動をとる					
率先力	先に立って実践する。先に立って模範を示し、他を誘導する					
5 創造力	知的好奇心を発揮して様々な専門内外のことに関心をもち、それらから着想を得て今までになかった新しいアイデアを発想する。その際、関連法令を遵守し、倫理観を持って社会に対して負っている責任を果たす					
発想する力	既存の枠にとらわれず、今までに無かった新しいアイデアを生み出す					
推論する力	経験のないことや将来起こりうることを推し量る					
感動する力	すぐれた芸術や技術、あるいは斬新なアイデアに接して強い印象を受け、新たな取り組みの原動力とする					
探求する意欲	旺盛な知的好奇心を持ち、専門であるなしに関わらず、未知の知識を取り入れようとする					
倫理	関連法令遵守。自らの取り組みや仕事社会や自然に及ぼす影響や効果を理解し、社会に対して負っている責任を果たす					
6 自己実現力	自らを高めるため、常に新しい目標を求め、その実現のために道筋を考え、努力する。その際、自己管理と改善のための工夫を怠らない					
目標設定	自らを高めるための適切な目標を設定する					
スケジュール管理	目標の実現のために適切な行動計画を立案し、計画遂行のために（メモを取るなどの）スケジュール意識を持って行動する					
自己管理	目標達成のために必要な日常生活の管理（時間管理、衛生管理、健康管理、金銭管理など）を行い、適時的確な行動を取る					
ストレスコントロール	ストレスと上手に付き合い、それによる悪影響を最小に抑える					
達成志向	普段から新しい目標を求めており、自分で設定してそれを達成しようと道筋を立て、努力する。改善のための工夫をする					